

平成29年度 第2回花見川区公民館運営審議会 議事録

1 日 時 平成30年2月21日(水) 午後2時00分～午後3時40分

2 場 所 幕張公民館 講堂

3 出席者 出席・・・14名(定足数8名)

竹内昌夫委員、宇野勝男委員、鶴岡義昭委員、宮間久男委員、吉田とし子委員、
大矢建三委員、東野陽子委員、服部恭子委員、林 徳子委員、門脇昌子委員、
野村佳代子委員、橋本香代委員、大木 操委員、大塚由美子委員、

欠 席・・・1名 新田芳男委員

(事務局)

田野 敬館長、斉藤敏行副館長(幕張)、村松英司館長(花園)、平川幸雄館長(犢橋)、
太宰信也館長(検見川)、小原規洋館長(花見川)、鴫田芳朗館長(さつきが丘)、
齊藤和範館長(こてはし台)、松戸義明館長(長作)、林 弘明館長(朝日ヶ丘)、
友杉修三館長(幕張本郷)、川嶋健司主査、齋藤 敬囑託主事(幕張)

※千葉県教育委員会生涯学習振興課 田島補佐、渡辺主任主事

4 審議会

(1) 議事録署名人の選出

(2) 議事

① 承認事項

議案第1号 平成30年度 事業計画について

- ・平成30年度 公民館主催事業計画
- ・平成30年度 花見川区事業計画

② 報告事項

平成29年度 事業報告について

- ・平成29年度 公民館主催事業報告
- ・平成29年度 花見川区事業報告

③ その他

5 審議会の概要

(1) 開会のことば(進行: 斉藤副館長)、委員長挨拶(竹内委員)の後、議事録署名人の選出
を行い、2名の委員が議事録署名人に指名された。

- ・議事録署名人: 鶴岡義昭委員、宮間久男委員
- ・傍 聴 人 : 0人

(2) 承認事項(議案第1号 平成30年度事業計画について)と報告事項(平成29年度事業
報告について)を一括して提案説明をした。

(3) その他

報告事項 千葉県公民館研究大会千葉大会について
平成30年度からの公民館運営審議会の事務局について

6 会議経過

進行 斉藤幕張公民館副館長

<p>斉藤 幕張公民館副館長</p>	<p>○資料の確認後 ・平成29年度第2回運営審議会を開催いたします。</p>
<p>竹内 委員長</p>	<p>○会長挨拶 ・冬季オリンピックについて</p>
<p>斉藤 幕張公民館副館長</p>	<p>○傍聴人の確認…本日傍聴人0人 ・これより平成29年度第2回花見川区公民館運営審議会の議題の審議をお願いいたします。新田委員体調不良により欠席。従いまして本日、15名中14名の委員さんが出席されており、千葉市公民館管理規則第12条第1項の規定によりまして過半数以上で会議は成立しております。本会議は情報公開条例第25条に基づき公開となっております。また、議事録についても公開することになっております。また、議事録を作成するために録音させていただきますので、ご了承いただきたいと思っております。それでは、議事の進行を竹内委員長をお願いいたします。</p>
<p>竹内 委員長</p>	<p>・審議に入る前に議事録署名人2名を指名したいと思っております。例年名簿順をお願いしております。今回は鶴岡委員と宮間委員をお願いいたします。それでは、審議に入ります。本日の議事はその他を含め3件です。順次事務局から説明をした後、質疑応答をまとめてやっていきます。それでは承認事項と報告事項を続けてお願いいたします。幕張公民館を最初に順番に各館長さんから資料に基づいてご説明をよろしくをお願いいたします。</p>
<p>斉藤 幕張公民館副館長</p>	<p>・幕張公民館の斉藤です。ご説明にあたっては、全館とも着座のままで失礼いたします。 最初に、2ページの平成29年度事業報告をご覧くださいませでしょうか。書式等について、若干、先に説明させていただきます。 まず、取りまとめる必要から、12月末現在で整理、集計しています。その時点で終わっていない事業については、定員まで記入し、後は空欄としています。また、表の一番上の項目の色塗りした2箇所について、見づらくなっていますので補足しますと、左側の色塗り箇所は「応募決定率」で、講座への応募状況が分かるようにしたもの、右側は「出席率」で、受講の決まった方が実際、講座に出席した割合です。 それでは、1ページに戻りまして、幕張公民館の事業計画について、新規事業を中心にご説明いたします。 まず、「家庭教育」についてですが、5事業のうち新規が一つで、3番目の家庭教育学級「環境プログラム」が新規です。実験を通じて資源エネルギー問題などについて、親子で学んでもらおうとするもので、具体的には「牛乳パックの紙すき」や「エコキャンドルづくり」などで、今後、内容を決めていく予定です。 次に、その下、少年教育ですが、4事業の一番下、「千葉氏ダンボール甲冑づくり教室」が新規です。小学生を対象にし、千葉氏について学ぶとともに、当時の武士が着ていた甲冑をダンボールで再現、8月の親子三代夏祭りで武者行列に参加し、千葉市への愛着をより一層持ってもらうとす</p>

る計画です。

次に成人教育では、5事業のうち下から2番目の「要約筆記を学ぶ」が新規です。東京オリンピック、パラリンピックを控え、あまり関心が向かないパラリンピックについて、市民の方々の理解と関心を高めるため、各区の公民館のうち、一つの館は、何か取り組んでいこうとのことになりました。

当館には中途での失聴、難聴者に向けたサークル団体が活動していますので、そこに協力をお願いし、ボランティア教育を支援しようとするものです。

女性教育については、2つとも新規で「染物」と「組みひも」ですが、いずれも当館のサークル団体と連携して実施する計画です。

高齢者教育については、一番下の「タブレットを使った脳トレ講座」が新規で、後の4事業は継続です。

以上24事業、44回の計画としました。

続きまして、平成29年度の事業報告をいたします。2ページをご覧ください。概ね計画通りに実施できました。

家庭教育の下から二番目の「ウィンターコンサート」、今年度で4回目となりますが、幕張中吹奏楽部と中南米の楽器 アルパの演奏グループが出演しました。中学生の熱演もあって、大変盛況でした。

次に成人教育ですが一番上、「郷土千葉を知り、あるこう」についてです。今年度は地元、花見川区内の史跡散策を行いました。5回実施したのですが、馴染みのあるコースだったためか、出席率としては63%になりました。来年度は、市内に範囲を広げて、史跡散策を実施する計画です

最後に、女性教育の2事業についてです。市政だよりを含めPRに努めたのですが、残念ながら参加者は5名、6名と少人数でしたので、来年度、いずれも見直すことにしました。以上でございます。

村 松
花園公民館長

・花園公民館長の村松です。平成30年度事業計画についてご説明いたします。資料の3ページをご覧ください。

30年度は、継続15、新規10の全25事業を予定しております。

「家庭教育」としては、花園中学校区保護者を対象とした「教育座談会」や、親子を対象とした「子育て教室」、新規事業として「大賀ハスの飾りとミサンガ作り」等、全5事業を予定しています。

「少年教育」としては、「子どもチャレンジ」として全9事業を予定しています。特徴としては、例年好評を得ている「フラワーアレンジ」や「パンづくり」は継続事業とし、新規事業としては小学校に導入される英語を取り上げ、年8回継続の「英会話教室」を取り入れていく予定です。

「成人教育」では、人気の「歴史講座」、「ラテアート」、「指ヨガ」は継続し、「花園チャレンジ大学」に新規事業4種目を加え、全7事業実施する予定です。

「高齢者教育」としては、29年度に人気の高かった「タブレットを使った脳トレーニング体験講座」を全3回講座で実施する予定です。

「その他の講座」として、「落語」、「歌謡ショー」、「ペットの防災対策」等新規3事業を予定しています。平成30年度事業計画については、以上でございます。

次に、平成29年度事業報告についてご説明いたします。資料の4ページをご覧ください。

まず、「家庭教育」ですが、4事業を実施しました。今年で3年目になる、学区の小中学校保護者を対象とした「教育座談会」、「子育て教室」は、好評を得ている為、30年度も継続して実施することにしました。

続いて「少年教育」ですが、「子どもチャレンジ」として13事業を実施しました。本館で活動されているヘルスマイト、学習ボランティア、青少年育成委員会の方にご協力いただき、どの講座も大変好評でした。新規事業の「ラテアートに挑戦」、「英語で遊ぼう」も本館サークルの方が講師で、大変好評でした。

続いて「成人教育」ですが、「歴史講座」と「花園チャレンジ大学」の全8事業を実施しました。新規事業6種目を加えた多彩な内容を計画した為か、毎回多くの方が応募して下さり大変好評でした。その中でも「タブレットを使った脳トレ体験講座」は高齢者に人気で電子機器の普及を感じました。好評の為30年度に高齢者教育で3回講座として計画しました。

「その他の講座」として2事業計画しましたが、出演者や講師の都合がつかなくなり、中止しました。

平成29年度は以上の全25事業を実施しました。以上で、花園公民館の説明を終わります。

平川
 犢橋公民館長

・犢橋公民館長の平川でございます。それでは、犢橋公民館におけます平成30年度の事業計画についてご説明をさせていただきます。

犢橋公民館は、建替えのため平成28年3月31日をもって休館し、昨年10月に、犢橋市民センターとの併設として、装いも新たにオープンを致しました。施設につきまして、若干、ご説明をさせていただきます。

貸出し用のお部屋ですが、1階には、災害時における炊き出し用のコンロや流し台が設置された定員15名の会議室、2階には、お茶会用の炉を備えた10畳の和室。また、多目的な用に供する定員30名の講習室、更に、定員100名の講堂がございます。この講堂には、舞台や大型スクリーンを備え、二面の壁面いっぱい鏡も取付けられております。また、共有部分と致しましては、1階に災害用備蓄倉庫、赤ちゃんに授乳するお部屋、多目的トイレなどがございます。

2階には、利用者や来館者が自由に利用できるラウンジも配しております。是非、お立ち寄りを頂ければと思っております。

それでは、平成30年度の事業計画についてご説明をさせていただきます。大変恐縮でございますが、5ページをご覧頂きたいと存じます。

平成30年度からは、千葉市教育振興財団が指定管理者として管理運営する事を視野に入れ、事業予算に期待し、建替え前の事業数の、概ね2倍の事業を企画致しました。

閉館前の事業と比較しますと、主な新しい事業として、『指ヨガ』『スポーツ吹き矢』『脳トレーニング』等の体験教室や警察・消防等の関係機関の協力を得て、『防災・防犯・救命関係』の講習会。また、利用者の殆どが高齢者でございますので、その方々のニーズに応え、『終活に係る遺言状や相続税の講座』など、お手元の資料でございますように、25の事業を計画したところでございます。

今後も、地域の皆様のニーズに見合った事業を基本に、多くの方々が参加しやすく、好評を得られる事業を選択し、進めて参りたいと考えております。平成30年度の事業計画は、以上でございます。

次に、平成29年度の主催事業の報告についてご説明をいたします。大変恐縮でございますが、6ページをご覧頂きたいと存じます。

先にご説明を申し上げました通り、犢橋公民館は昨年10月に新たにオープン致しました事から、資料のとおり「小学生を対象とした書初め練習会」と「成人を対象としたお正月の花飾りづくり」を行い、現在は、刻字教室として、この2月と3月の二月に4回コースで「表札づくり」に挑戦して頂いております。平成29年度は、オープン後、間もないことから、数少ない事業となってしまいましたが、「書初め練習会」や「お正月の花飾りづくり」の2講座とも、出来上がった作品が素晴らしく、また、豪華に出来たと喜んだりされ、大変満足を受けております。これらの主催事業を通じまして、社会教育の裾野が広がって頂ければ、幸いと考えております。犢橋公民館の主催事業の計画及び報告は、以上でございます。

太 宰
検見川公民館長

・ 検見川公民館の太宰です。よろしくお願い致します。

まず、平成30年度の事業計画です。7ページをご覧ください。30年度は継続13、新規3の計16講座を予定しております。

家庭教育は、3事業です。「親子遊びの教室（楽しく遊ぼう いち・に・さん）」に加え、新規事業としてさらに小さいお子様対象の「親子でリフレッシュ体操教室」を計画しました。「教育座談会」は28年度より花園公民館と合同で行っています。検見川小学校の保護者にとって中学校で一緒になる他の小学校との情報交換は大変貴重なものであると考えております。

少年教育は、5事業です。28年度から始めた「子どもお話し会（本の読み聞かせ）」は子どもの情操を深めるとともに、読書活動にも寄与することから、さらに内容の充実を図り継続していきたいと考えています。また、今年度実施できなかった「クリスマスケーキ作り」を実施し、子どもたちの意欲の向上を図り、食育に寄与できたらと思います。

成人教育は、7事業を予定しています。既存のサークルと連携を図った「体験学習講座」を5講座予定しております。この講座は、高齢化が進むサークルの活性化を図る目的で行っており、毎年成果をあげております。今のところ、書道、囲碁、気功、居合剣術、健康体操を予定しており現在担当者と調整中です。成人教育等と分類に書きましたのは、少年対象になる可能性を残している講座がありますので、「等」と入れました。

次に平成29年度の事業報告です。8ページをご覧ください。本館は、1月より改修工事が始まり、館全体に足場が組まれ、駐車場の閉鎖や仮設トイレ使用、工事騒音等で、ご利用者様にはご不便をおかけしてまいりましたが、活動を縮小することなく充実した活動が実施できました。11月に予定しておりました、花園公民館と連携した事業の一つである家庭教育学級（地域の歴史散歩）が悪天候予想のため中止となりました。また、9月より主事の一人が体調不良により長期療養を余儀なくされ、12月のクリスマスケーキ作りが中止となりました。そのため、15事業の計画でしたが、13事業の実施となりました。子どもお話し会は部屋を暗くし、照明

<p>小 原 花見川公民館長</p>	<p>を工夫して雰囲気を出したので子どもたちはのめり込んでいました。また、「スライムづくり教室」は大変人気があり抽選で半分にしたほどで、募集や実施方法の改善が必要でした。</p> <p>その他の事業については資料をご覧ください。</p> <p>簡単ではございますが、平成30年度の事業計画及び平成29年度の事業報告とさせていただきます。</p> <p>花見川公民館の説明をさせていただきます。</p> <p>9ページをご覧ください。説明に入る前に2か所ほど訂正させていただきます。少年教育の「子どもうどん作り教室」ですが、新規ではなく継続の事業です。もう一つありまして成人教育の一番下「医療講演会」も継続となります。昨年度は高齢者教育でやったのですが、成人教育に移したということで新規としましたが、継続の事業となりますので、訂正をお願いいたします。</p> <p>平成30年度の事業計画は2事業を加え16事業で、講座数は5講座増えて28講座を予定しております。事業の内訳といたしましては新規事業が7事業、子供の科学事業が1事業、継続事業が8事業です。</p> <p>まず、家庭教育関連の子育て支援事業につきましては、「親子のふれあい」を中心に育児支援・母親同士の情報交換や仲間作りの推進に努めたいと思っております。</p> <p>次に、少年教育関連の事業につきましては、創造性の育成や人気度などを勘案して物作りや食べ物作りを主体にした五つの事業を実施するもので、公民館に親しんでもらえるようにと思っております。</p> <p>また、成人向け事業・高齢者向け事業・その他事業につきましては、合計10事業を企画いたしまして、医療や健康志向などに趣味的なものや娯楽的なものを加えたものとなりました。</p> <p>続いて平成29年度公民館主催事業報告についてですが、10ページをご覧ください。</p> <p>平成29年度は、14事業で講座回数は23講座の企画でした。まず、家庭教育事業の子育て支援関連の事業ですが、参加者の充実を図る為、2歳児親子と3・4歳児親子の二つの事業を平成28年度から年齢幅を2歳児前後と広げた一つの事業としたことで前年同様募集定員に近い応募があり良い効果が得られております。</p> <p>次に、小学生を対象とした子ども向け事業ですが、合計5事業を各1回ずつ開催いたしました。事業内容への興味や学校の各種行事等との兼ね合いなどから定員に満たないものも見受けられましたが、概ね成果が得られたのではないかとと思っております。「子どもバレンタインチョコ作り」については、事業実施が本件資料作成時後のため事業内容が空欄となっておりますが、2月10日に実施済みで風邪により二名ほど欠席者が有りましたがパンダのチョコを作ったりして好評でした。</p> <p>そして、成人向け・高齢者向け・その他の3分類は合計8事業で健康や医療の講座に趣味的娯楽的なものも加え、何れも好評でした。</p> <p>以上、花見川公民館の説明を終わります。</p>
------------------------	--

<p>鴫 田 さつきが丘公民館長</p>	<p>・平成30年度のさつきが丘公民館主催事業計画について説明いたします。事業数は18事業を予定しています。新規としては3事業となります。</p> <p>少年教育では、新たに「こどもマジックショー」を実施します。これは本公民館でクラブ活動が続けている皆さんに実演してもらい、それを鑑賞して楽しんでもらいます。クラブの方々も意欲がわきますし、子どもたちも楽しい時間を過ごせると考えます。</p> <p>成人教育では、みなさんの関心が高い健康づくりを継続すると共に、「税金と年金」という生活に密着した内容を実施します。また、リクエストも多く大人気の落語講座はずっと継続したいと思っています。さつきが丘地区は高齢者が多いので全体的には高齢者に焦点を当てた事業を多く計画しています。最近は多くの方が日常的に活用するようになってきたのでスマートフォンの使い方を理解し、有効活用してもらうための新規事業も入れました。初めての試みとして、女性にターゲットを絞り、アロマセラピーを取り入れた新規事業も考えています。</p> <p>これからも地域の実態、需要に応えられる事業の展開ができるようにしていきたいと考えます。</p> <p>29年度公民館主催事業について報告いたします。全部で16事業を実施しました。</p> <p>家庭教育では親子料理教室、ベビーマッサージ教室を実施しましたが、料理教室では「料理作りをしながら親子の触れ合いや友達との交流ができた」、ベビーマッサージでは、「楽しみながらスキンシップができ、他のお母さん方とも話ができた」との感想も聞かれ好評でした。</p> <p>次に、少年教育ですが、3事業を実施しましたが、参加した子どもたちにとって楽しい時間が作れたようで、笑顔と満足で帰る姿があり、休業日対応事業として充実できたと思っています。</p> <p>成人教育ですが、パソコン講座、健康づくり教室、ノルディックウォーキング、菓の基礎知識、相続・遺言の基礎知識など、生活に役立つ講座を実施しましたが、どれも関心が高く多くの方が参加していました。質問コーナーとして個別に話をできる時間を取ったことは好評でした。落語は定員を上回る申し込みがあり大人気でした。映画会は上映作品の選択も難しく、家で観る機会も多くあるためか予定の人数を集めきれませんでした。検討の余地を感じました。</p> <p>地域には高齢者が多いので、公民館にわざわざ足を運んでも参加したいと思えるような事業をいかに計画するか、また、事業の良さをいかに伝えるかは重要であることを再認識しました。</p>
<p>齊 藤 こてはし台公民館長</p>	<p>こてはし台公民館です。13ページをご覧ください。</p> <p>来年度は、25の事業を予定しておりますが、まず、9つの新しい事業に関して説明させていただきます。</p> <p>家庭教育では、こてはし台中学校が、学校支援地域本部設置候補校に指定されたことを受け、学校とのよりよい連携を探るために「家庭教育学級」を1講座、教育講演会を1回計画いたしました。</p> <p>また、成人教育では、29年度の講座の内容を発展させられる内容として今話題になっております「終活」の一部である「エンディングノート」や「相続・遺言」についての講座を計画いたしました。これまで当館の恒</p>

例となっておりました「昼下がりの音楽会」をより多彩なものにするために、主催する有志の方と当館の担当者が検討して内容を高めていけるよう共催事業といたしました。

次に、継続の講座ですが、本館では伝統的に少年教育に力を入れておられて、年間を通して、子どもチャレンジ隊という名前で将棋・囲碁・料理・工作・天体観測の講座を実施しています。さらに学校支援地域本部の考え方を生かして、出張講座「落語の楽しさを知る」を継続していきたいと考えております。

また、高齢者教育における「加曾利貝塚」の講座は、今年度の内容が好評であったことをうけて、地域にある遺跡を探る内容も加えられるような計画といたしました。

以上、30年度の計画です。

平成29年度の事業報告をさせていただきます。14ページをご覧ください。

今年度は、23事業を実施しました。

家庭教育の子育て講座「パパと遊ぼう」は参加者が3家族合計9名と少なかったのが残念でした。参加者の反応はとてよく、来年度は「パパ」と限定せず、「親子で遊ぼう」として、より多くの参加を期待したいと思います。

少年教育の子どもチャレンジ隊の将棋・囲碁は、年間で10回実施となります。すでに継続希望者を募集しています。囲碁の参加者が6年生なので、30年度の囲碁教室の継続について検討しています。

成人教育の「地域力を深める」は、参加者が少なかった分、自分の置かれた状況や、こてはし台地区の身近な問題点を具体的に話し合うことができ、すでに地域に存在するボランティア組織との連携等にも話が及び、受講者に好評でした。

高齢者教育は「千葉を知る」というくくりでテーマを歴史に設定し、男性の参加増を目指しました。「加曾利貝塚」については、講座終了後の質問が多数でて、「何回かに分けて講座をもってほしい」という要望も寄せられました。内容については「高齢者」に限るのほもったいないものなので、募集の仕方を検討していこうと考えております。

また、公民館に設置してありますAEDの使い方や心臓マッサージを学ぶ普通救命講習「AED講習」は、利用者の健康安全意識を高める目的で実施し17名の参加を得ることができました。

以上、簡単ではございますが、こてはし台公民館の計画と報告を終わります。

長作公民館の松戸でございます。資料の15ページをお開きください。

最初に、平成30年度の事業計画について申し上げます。来年度長作公民館が実施を予定しているのは、新規、継続あわせて20事業です。

まず、家庭教育分野では、乳児を対象とした親子ふれあい教室と、管内の小中学校3校の保護者を対象とした家庭教育学級を開催しますが、家庭教育学級の内容については4月以降PTA等と情報交換を行いながら詰めてまいります。

少年教育としては、夏休みに工作と環境関連の教室を、冬休みにクリス

松 戸
長作公民館長

マスキ作り、またサークルと共同で、おはなし会、スクエアダンス教室を行います。さらに来年度は新しい試みとして、親子料理教室を開催します。

成人教育としては、パソコン教室を例年開催しておりますが、応募者減少のため、今年度から初心者向けに表計算ソフトのエクセルを学ぶ教室を開催しましたが、来年度も開催したいと考えております。他にガーデニング教室、そば打ち体験講座の開催を計画しております。

女性教育としては、サークルと連携し、茶道や着付けの体験講座を行う予定です。

高齢者教育として、2年ほど前から開催して好評の認知症予防講座を開催します。その他、サークルの協力を得て詩吟体験講座を開きます。

団体・グループ活動の助成の分野では、サークルの代表者などを対象に勉強会を開きます。内容は今後協議する予定です。

最後にその他の講座として毎年好評を博しているギター演奏会（春のコンサート）とボランティアによる落語会も計画しています。また、悪徳商法や振り込め詐欺の防止などに関する消費生活講座を計画しています。

次に16ページをご覧ください。平成29年度事業報告について申し上げます。29年度は16事業を実施予定で、12月までにそのうち10事業が開催済みです。

家庭教育は、親子ふれあい教室を開催しましたが、今年度は参加者が少なめでした。

少年教育は、東京ガスの協力で、燃料電池について実験を通して学んだほか、工作やお菓子作り教室を開催しました。

成人教育では、今年度初めて文化祭の時間に事業を組み込むという試みを行い、消費生活講座として、寸劇を開催したところ、参加者も多く、大変好評でした。

その他の講座として、2月3日（土）に防災普及公社と共催で防災講座を開催したところ、定員40人には達しませんでした。地域の方たちが多く集まり、30人以上となり盛況でした。

以上で、長作公民館の平成30年度の事業計画と平成29年度の主催事業報告の説明を終わります。

続きまして、朝日ヶ丘公民館です。17ページをご覧ください。

平成30年度事業計画ですが、本年度の成果と反省をもとに、来年度は25の事業を計画しております。

事業内容の構成につきましては、本年度好評であったものは継続を図り、その上で、新しい事業を加えました。そのため、継続事業20、新規事業5となっております。

継続事業としては、少年教育の「太巻き祭り寿司」や「ガス管でリサイクル（万華鏡）」、「親子料理」等を実施する予定です。また、今年度受講希望が多かった「クリスマスのケーキ作り」については、2回実施する予定です。さらに読書に親しむきっかけ作りのためにも図書室と連携して「おたのしみおはなし会」も引き続き実施していく予定です。

成人教育では、受講希望が多い「パソコン講座」については、エクセル講座を実施するとともに、一人一人の技量に応じた「パソコン講習（なん

林
朝日ヶ丘公民館長

でも相談)」を実施し、技量の向上を図る機会にしたいと考えております。また、引き続き、「初心者のそば打ち」や「太巻き祭り寿司」、「川柳と雑学セミナー」等も実施する予定です。

新規事業では、家庭教育の「親子でいっしょに体操しよう」と「ベビーマッサージ体験講習」、少年教育の「アートフラワー講習」、成人教育として、「本とおしゃべり」、女性教育の「アートフラワー講習」を実施していく予定です。

例年実施しております、千葉市社会福祉協議会・朝日ヶ丘地区部会主催の「ふれあい食事会」と連携した高齢者教育の「軽音楽鑑賞会」や「フラダンス鑑賞会」、「朝日ヶ丘寄席」、「大正琴鑑賞会」や今年度実施して好評だった「新春コンサート」も引き続き実施する予定です。

平成30年度も、広報などにしっかりと取り組み、「学びの場」としての稼働率向上に努めてまいります。

平成29年度の事業報告ですが、18ページをご覧ください。家庭教育1、少年教育7、成人教育8、高齢者教育5、グループ活動の助成1の22事業を計画し、12月末現在では、18事業を終了しております。

家庭教育の「ベビーマッサージ体験教室」では、例年に比べ参加者が少なく、原因として材料費のオイル代の負担が考えられましたので、次年度は、内容を見直し、オイルを使わないで行うように改善したいと考えます。

また、少年教育の「ペットボトルでランプ作り」については、体験した児童も多くなり、受講希望者が減少してきましたので受講希望の多い事業を検討したいと考えます。

少年教育の「アートフラワー講習（カーネーション作り）」や「クリスマスのケーキ作り」などでは、受講希望者も多く、参加した小学生がとても楽しく、仲良く協力しながら取り組んでいました。

成人教育の「パソコン講習（エクセル）」や「パソコン講習（なんでも相談）」は、希望者も多く学習支援者の説明も、とてもわかりやすく受講者からたいへん好評でした。

また、千葉市食生活改善推進員のお力をお借りして実施した、少年教育の千葉県の伝統料理である「太巻き祭り寿司」や成人教育の「野菜たっぷり健康レシピ」は、野菜不足からくる生活習慣病の予防や健康づくりのための食生活のあり方からも有意義な講座となったと考えております。

例年実施しております、千葉市社会福祉協議会・朝日ヶ丘地区部会主催の「ふれあい食事会」と連携した高齢者教育の「フラダンス鑑賞会」や「朝日ヶ丘寄席鑑賞会」は、参加者は、多かったのですが、「コーラス鑑賞会」や「軽音楽鑑賞会」の参加者がやや少なかったことなどの課題も含め、多くの方に、公民館を学びの場としてもらうための講座の在り方について、検討を進めてまいりたいと思います。

幕張本郷公民館です。平成30年度主催事業計画を説明させていただきます。資料は20ページです。

平成30年度は、「地域の人により多く参加でき、地域の絆づくりに貢献する主催事業」を積極的に展開します。それは、社会教育団体、主にサークルの利用者の減少、アンケートからの把握ですが、より多くの主催事業をという要望に対応して、主催事業を充実させて地域に貢献したいと考え

友 杉
幕張本郷公民館長

たからです。さらに、主催事業をもとにサークル活動等を新規に発足させ持続的な活動ができるようにしたいと願っています。

主催事業の例をいくつか挙げますと、新仏像づくり（円空彫り）で、心の安寧を求める声に応え、新たな公民館利用層を開拓します。やはり新規で和菓子・洋菓子づくりで、人々の胃袋をつかんで公民館のよさをアピールし、新規サークルづくりにつなげていこうと考えています。

また、新規講座としまして歴史講座「子守神社と庶民の思い」を開設し、「千葉氏」という武士に加えて、庶民の行動や祈りを知り、地域の暮らし方を知るという知的な要望に応えていこうと考えています。

継続事業としましてパン作り教室は、1日から3日に拡充します。より多くのニーズに応え、美味しいものを作り食べる喜びを、パンのようにふくらませていきます。

なお、事業が多すぎるのではないかというご心配の声もありますが、種類は多いのですが事業回数はそれ程でもありません。実施は可能と考えています。実は29年度ももっと多くの事業をしたかったのですが、お金がなかったのです。来年度は「くださる」ということなので、より「豊かに」「面白く」していきたいと願っています。

以上、30年度の計画を説明させていただきました。

平成29年度の事業報告をいたします。資料では21ページです。

平成29年度は、幕張本郷地域の特性、他に比べれば高齢者の割合が少なく、子どもや若い世代も多いことを踏まえて、ある年齢層に偏らず、新しい住民も自然と参加できて、地域の絆づくりに役立つような事業を展開しました。内容としては、家庭教育から高齢者教育まで23事業、34回の主催事業を実施しました。全体的な事柄については、資料をご覧ください。二つほど例を挙げて、事業内容をお伝えします。

成人教育の「フラワーアレンジメント」については、大変好評で講師に頼んで受講者を増やしてもらいました。参加者のコメントには、「お正月飾りが綺麗にできました。もう今から飾るのが楽しみ！」「説明が分かりやすく、コスパも最高です。来年も絶対参加します。」「1500円でこんな素敵な体験ができて、しかも豪華な作品ができました。信じられません！」とありました（ちょっとアレンジしていますが）。話を聞くと、昨年度参加した人が知り合いを誘って共に応募したそうです。素敵な花だけでなく、地域のつながりもつくっているのだと考えます。

もう一つ、幕張本郷公民館名物の味噌作りです。資料では未実施ですが、充実した活動ができました。主催は1日ですが、実際には講師に依頼して5日間連続で開催しています。リピーターも多く延べ人数として72人参加しました。参加者の声として、「楽しく味噌作りができ、昼の賄飯も美味しかった。」「毎年ありがとうございます。この講座来年もぜひやってください。」等、大変好評でした。味噌は現在ねかしている最中で、出来上がるのは1年後です。きっと素晴らしい味になっていると思います。

最後に、主催事業ではありませんが、公民館の運営について報告いたします。第1回の審議会で、竹内委員長さんから市民センターを活用したPRについての質問がありました。後でその質問は活性化のヒントだと考えて、取り組んでみました。具体的には、市民センター出入り口にある、目立つ掲示板は、すべて公民館活動（サークル、主催事業）のPRに徹す

<p>竹内 委員長</p>	<p>る。サークル紹介のポスター・主催事業の案内だけをそこに立体感がでるよう集中して掲示する。サークル参加の案内（一覧表）をすぐ近くにとりやすいように置く。すると、変化が生まれました。皆さん実によく見えています。案内も多く出ますし、問い合わせが増え、実際に参加者も増えていきます。改めて、働きかければ変化がうまれると感じました。</p> <p>味噌同様、公民館も麴によって現在発酵している最中です。29年度の活動によって、熟成が進んでさらに美味しくなっていると考えます。</p> <p>以上で29年度の事業報告を終わります。</p> <p>最後に花見川区の事業について説明をお願いします。</p>
<p>田野 幕張公民館長</p>	<p>幕張公民館の田野でございます。続きまして、花見川区の区事業についてご説明します。資料の22ページをお願いします。</p> <p>まず、平成30年度花見川区事業計画 花見川区事業についてご説明します。事業の名称は、「子育てママのおしゃべりタイム」で本事業は、公民館事業の分類のうち、「家庭教育」に分類されるもので、内容としては、子育てのサロンを運営して、千葉市教育委員会から委嘱された「子育てサポーター」や「臨床心理士の家庭教育アドバイザー」からのアドバイスを受けるなど子育ての仲間づくりを支援する事業です。</p> <p>当事業は、名称を今年度と同様に来年度も「子育てママのおしゃべりタイム」として、年間23回を実施することで計画しております。</p> <p>次に、同ページにある平成29年度花見川区事業報告 花見川区事業ですが、当事業は、現在も継続中で、子育て中のお母さんが子どもと共に集まり、母親の悩み相談や子ども同士の出会いの場として、参加者から評価されております。</p> <p>なお、今年度から花見川区役所健康課と連携して、基本的に月2回あるうちの1回は、保健師や管理栄養士などが参加して、その場で専門的なアドバイスを行ってもらえるようになっております。また、子育てサポーターは、昨年度と同様、5人体制で行っております。</p> <p>今年度は、昨年12月末までに17回実施しました。説明は以上です。</p>
<p>竹内 委員長</p>	<p>それでは、平成30年度の事業計画についてこれからご審議いただきたいと思えます。議事録を作成する関係で、発言される場合には委員さんの名前をはっきりとお話してからからご意見をお願いします。せっかくの機会ですからどうぞご意見をお願いします。</p>
<p>宮間 委員</p>	<p>検見川公民館では家庭教育学級を花園公民館と合同で実施することになっているが、30年度の花園公民館の計画の中では対象の中に検見川小のPTAは入っていないけれどもどういうことですか。</p>
<p>太宰 検見川公民館長</p>	<p>昨年度、一昨年度と2回共催という形で実施してきましたが、30年度からは検見川は検見川で計画していこうということで、ただ一小しかありませんので、同じ花園中に入る子どもたちですから一緒に同じ日と同じ場所でやりませんか、ということだけで共催という形よりも独立してやるけれども同じ日時、同じ場所で行おう、ということにしました。</p>

宮 間 委 員	同じ場所、同じ時間、部屋が違うだけで。
太宰検見川公民館長	いえ、花園公民館をお借りして。今までは計画からすべてお願いして、それに追随していたけれども、これからは検見川は検見川で主体的にやろうということにしました。
宮 間 委 員	一緒にはならないということですか。
太宰検見川公民館長	結果としては共催と同じにはなりません 同じ場所、同じ時間でやります。
宮 間 委 員	よくわからないのですが、同じ場所、同じ時間でやるということはどうしても一緒になりますよね。
太宰検見川公民館長	一緒にやるけれども、共催という形ではなく、検見川と花園がそれぞれ主体的に計画運営をしていくということで、それぞれに主催という形をとりたい。内容は一緒に進んでいきますが。
宮 間 委 員	わかりました。
竹 内 委員長	よろしいでしょうか。
宮 間 委 員	もう一点。ケーキ作りについて、大変競争率の高いところがありましたよね。18ページ朝日ヶ丘公民館のケーキ作りですけれども、たいへん高い倍率がありましたね。これ実際に現場の話ですけれども、小学生が対象で、1年生2年生じゃケーキ作りできませんよね。小学生を募集する際に何か縛りを作るのか。どういう風な交通整理をするのか。それとも初めから1年生・2年生はだめですよ。というのか、現場の苦労としてはどうしているのか。どういう縛りになっているのか。
宮 間 委 員	もう一点。公民館というのは図書室があるところがありますよね。ここに資料がありますけれども、皆さん頑張っておられますけれども、
竹 内 委員 長	ちょっと待ってください。利用状況ですか。それは30年度の計画の方をまずご審議いただいて、今度は29年度の報告がありますから、その中で実績を含めてご披露いただきたいと思います。よろしいですか。 少し待ってていただいて。(宮間委員了承。)
林朝日ヶ丘公民館長	小学生を対象にということで、講師の先生に補助の先生をつけて、低学年の子どもたちが困っていたら補助をするという形でやっていただいています。今年度は応募者が多くて抽選になりましたので、なるべく希望した子どもたちには参加してもらおうということで、来年度は2回実施するというので計画しています。補助しないとできないところもありますが講師の先生にも鋭意ご協力を願いながら行っています。

宮 間 委 員	30年度は1年生でも2年生でも、保護者がいなくてもそれは条件ではないということですね。
林朝日ヶ丘公民館長	保護者の方、特に低学年の保護者の方については後ろの方で見学という形をとらせていただいております。若干まごついていたりしたらお手伝いも可能ということにしております。
宮 間 委 員	わかりました。ありがとうございました。
竹 内 委 員 長	その他、ご質問、ご意見ありませんか。 それでは、私の方から各館でクリスマスケーキ作りやパン作りなどそういったものについてかなり好評であるということですが、実際に受講する方々というのは、どれくらい負担するのでしょうか。応募した人がどれくらい払っているのか。クリスマスケーキ作りなどはどのくらい受講料がかかるのか、どこの公民館でもよいですが。
林朝日ヶ丘公民館長	パン作りの材料費といたしましては、600円いただいております。 焼き菓子のようなケーキに飾りつけをするんですね。食べきれないものにつきましては、持って帰って家の人と一緒に食べていただいております。
竹 内 委 員 長	その他ありますか。
吉 田 委 員	花見川公民館の吉田でございます。長作寄席とか、さつきが丘寄席とか地元の名前が入っておりますけれども、寄席をする方々はプロなのでしょうか。それともセミプロなのでしょうか。それとも地元の方が寄席を行うのでしょうか。
松 戸 長 作 公 民 館 長	長作の場合は千葉市内でそういった教室をやっているNPOがあるんです。フォーエバーというところをお願いしています。年季の入っている方ばかりでプロに近い素人の方にやっていただいております。
吉 田 委 員	費用、謝礼はどのくらいですか。
松 戸 長 作 公 民 館 長 竹 内 委 員 長	普通の謝礼で、規定内です。 市のボランティアセンターなど市の方にお願ひしますと市の方で派遣してくれますよね。寄席などいろんな方面・分野の講師を。基本的には無料ですが、ただしできれば交通費くらいはもっていただきたいというような形で派遣のようです。こんなことでやりたいという相談をすると市に登録されている方々を紹介してくれます。
吉 田 委 員	日曜日の「笑点」が大好きなんですけれども、心豊かにしてくれるひと時ですので、公民館の中でこういう寄席を定期的にされるということは素晴らしいことではないかと思います。

<p>斉藤 幕張公民館副館長</p>	<p>補足ですが、今竹内委員長がおっしゃったのは、生涯学習センターのボランティアの講師で、それにつきましては基本的には講師謝礼をいただかないのですが、交通費程度の謝礼は出しています。</p>
<p>竹内委員長</p>	<p>30年度の計画について、こんなところはどうなんだ等ご質問ご意見などありましたらお願いします。</p>
<p>竹内委員長</p>	<p>それではないようですから、平成30年度事業計画について承認することとしてよろしいでしょうか。</p>
<p>竹内委員長</p>	<p>(拍手) ご承認いただきました。どうもありがとうございます。</p>
<p>竹内委員長</p>	<p>それでは次に平成29年度事業報告ですが、まだ途中段階ということでお感じになったことについてご意見をだしていただければいいのですが。</p>
<p>松戸長作公民館長</p>	<p>みなさんに考えていただいている間に私の方から。長作公民館の消費生活講座ということで、文化祭の中で実施したと、そしてけっこう人が集まったということですが、とてもユニークな発想でよかったのではないかと思います。この講座の先生はどういう方だったのですか。</p>
<p>松戸長作公民館長</p>	<p>これは寸劇をやっていただきました。寸劇をやっている団体が、市川市のNPOの方々で、演劇を中心としたNPOの団体なのですが、その中にいろいろなグループがありまして、悪徳商法ですとか振り込め詐欺などを特化して演じる人たちがいます。この方たちに来ていただきまして、やっていただいたということです。時間的には30分程度でお願いしました。</p>
<p>服部委員</p>	<p>親子料理教室などの主催事業が計画されているのですが、今けっこうお母さんたち、子どもたちが公民館にいる間、自分たちは自分たちで時間を過ごしているようなので、親子で一緒にできるということはとても良いことではないかと思います。感想です。</p>
<p>竹内委員長</p>	<p>29年度の事業報告についてはまだ途中でございますので、いろいろとご意見はあろうかと思いますが、他になければこれで質問を打ち切らせていただきます。各公民館におかれましてはご説明の通り、これから3月いっぱいまで進めていただきたいと思います。</p>
<p>竹内委員長</p>	<p>副館長その他議題はありますでしょうか。 特になければ、千葉県公民館研究大会についての報告をお願いします</p>
<p>斉藤 幕張公民館副館長</p>	<p>第69回千葉県公民館研究大会は千葉市での開催となりました。11月15日蘇我コミュニティセンターで開催され、宮間委員さん、大矢委員さん、服部委員さん、林委員さんの4名に参加していただきました。まだ、報告書の方はできていないもので、お渡しできないのですが、代表して服部委員さんにご報告、ご感想をお願いできればと思います。服部委員さんにおかれましては今回初めて研究大会に参加されたとうかがっております。感想で結構ですのでよろしくお願いいたします。</p>

服 部 委 員	<p>全体会の方は「あらためて公民館の役割を考える」というテーマでの記念講演、講師は鈴木 眞理さんとおっしゃる青山学院大学の先生。社会教育施設としての公民館が生涯学習の場所として重要である、というような話でした。分科会は5つに分かれており、私は第5分科会で「歴史・伝統文化の学習と公民館」ということで国の特別史跡に指定された加曾利貝塚についてのお話でした。加曾利貝塚という国の重要な施設が近くにあるということはすごいことだということを感じました。一番印象に残ったのは加曾利貝塚の土器はへたくそな土器だということをおっしゃっていて、それが一番印象残りました。いろいろ勉強になりました。参加させていただいてありがとうございました。</p>
<p>斉 藤 幕張公民館副館長</p>	<p>それでは本日、会に出席していただいておりますが、平成30年度から公民館運営審議会の事務局を生涯学習振興課が担当しますのでその説明があります。</p>
<p>生涯学習振興課 田島課長補佐</p>	<p>市内47公民館の管理運営を担当しております、教育委員会生涯学習振興課、課長補佐の田島と申します。</p> <p>審議会委員の皆様におかれましては、日頃より公民館運営にご協力を頂いていることに、改めて御礼を申し上げます。私の方からは、平成30年度、今年4月以降の運営審議会の運営につきまして、ご報告をさせていただきます。</p> <p>指定管理者制度の導入につきましては、各館でここ2年程、公民館運営審議会、運営懇談会など、様々な場をお借りしまして、ご説明、ご報告をさせて頂いたところであり、冒頭の教育振興財団理事長からのご挨拶にもありましたが、公民館47館につきましては、今年4月より指定管理者制度が導入され、千葉市教育振興財団が管理運営を行うことになりました。</p> <p>各区の公民館運営審議会については、本市の附属機関であることから、千葉市が直接運営をさせて頂くということになります。4月以降は生涯学習振興課が運営審議会の事務局を担うこととなりますが、基本的にはこれまでの同様に開催したいと考えております。来年度以降につきましても、中核公民館の職員、各地区館の館長さんは財団職員となりますが、ご出席頂いて、指定管理者となる教育振興財団と協力をしながら運営をしていきたいと考えておりますので、これまでと変わらないご支援をお願いいたします。</p> <p>平成30年度第1回の運営審議会は、委員の改選が行われましたあと、6月に実施していきたいと考えております。くわしい日時につきましては後日お知らせしますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。以上です。</p>
竹 内 委員長	<p>運営懇談会の事務局はどうなるのですか。</p>
<p>生涯学習振興課 田島課長補佐</p>	<p>運営懇談会につきましては、事務局は各地区館の職員、つまり財団の職員ということになります。</p>
竹 内 委 員 長	<p>新しい陣容というのはいつ発表になるのですか。</p>

生涯学習振興課 田島課長補佐	実際に教育振興財団の方で、最終的には固める話ですが、少なくとも、市の職員の異動が決まる時期には固まるものと考えます。新しく来る職員につきましては随時、引継ぎ、研修を行っていくこととなります。
竹内委員長	4月1日なって突然新しい方が来られても利用者も困るので、公民館の方で懇談会レベルぐらいの顔合わせみたいなものはあるのですか。
生涯学習振興課 田島課長補佐	それぞれの館で状況が異なりますので、各館の状況に合わせて進められると思います。
竹内委員長	4月になってどういう動きをするのかお分かりになりましたでしょうか。
大矢委員	検見川公民館で主事さんが病気で休まれていたために、行事のいくつかが流れたということを知っているのですが、これから先それぞれの館で、配置上何人いなければならないのか、例えば職員が長期療養に入った時にどういう方法で補充するのか、少ない人数でいっちゃるといことなので、必要なのは何人なのかということを考えてやっているのか、行事に穴が開くという事態については運営主体としては考えてもらわなくてはいけないのではないかと。これについてわかることがあればいいが。
生涯学習振興課 田島課長補佐	<p>検見川公民館で事業が実施できなかったというのは、先ほど太宰館長からお話があったところだと思います。図書室のない公民館では、館長、主事が週5日、非常勤職員が週3日の勤務という3人体制で運営しており、一人が長く欠けた場合は、非常勤職員を充てることにしています。</p> <p>今後の体制については、教育振興財団が管理運営を行うことになるので、私の方から明確にこたえることに難しい部分がありますが、職員の勤務日数という点では、改善する方向になります。今までは館長、主事5日、非常勤3日で、13日分の勤務ということで、1週7日間を1日2人の勤務ということになると、14日分必要となり、館長が1人で勤務せざるを得ない日が必ず1日あったのですが、来年度からは、非常勤が週4日勤務できるよう、予算措置が行われる予定です。</p>
竹内委員長	<p>いろんな意味で4月になって変革するわけですが、業務についてはしっかりと受け継いでいただけるということですので、利用者は安心して、使用させていただけるのではないかと思います。いろんなことを頭に入れながら新しい体制に向かっていけばいいのではないかと思います。ほかになれば、今日の議題についてこれで終了したいと思います。どうもご協力ありがとうございました。</p> <p>申し訳ありません、図書室の件がありましたね。</p>
宮間委員	利用者として、小学校もそうかな、図書室の本が汚いと言葉は悪いのですが、本が汚れているとかね、という意見があったものですから、来年度は予算が増えるようですから、できるだけきれいな本をそろえてほしい。

<p>斉 藤 幕張公民館副館長</p>	<p>それが言いたかったのです。よろしくお願いします。</p> <p>長時間にわたりましてご審議ありがとうございました。以上をもちまして、平成29年度第2回花見川区公民館運営審議会を終了いたします。運営審議委員さんにおかれましてはお忙しいところご出席いただきましてありがとうございました。</p>
-------------------------	--

閉会 15時40分

問い合わせ先

千葉市教育委員会 生涯学習部 幕張公民館

電 話 043-273-7522